

説 教 「オープン・チャーチ礼拝」 北浜チャーチ  
黒田 禎一郎

2022年8月28日（日）

説 教：「賢く生きる心構えが大切」

—イエスの知恵—

テキスト：マタイ福音書10章16節

## はじめに

・お早う ございます！

・今日は北浜チャーチの「オープン・チャーチ礼拝」です。皆様のご参加を歓迎します。初めて教会へお越しになられた方も、歓迎致します。

今日、私は分かり易いメッセージをさせていただきますので、どうぞ最後まで心を開いてお聞きください。

・相手の深層心理を読み取ること、考えたことはおありでしょうか。

仮のお話しですが、あなたに金持ちの従兄がいて、その従兄が亡くなった時に5万ドル(約665万円)の遺産が送られてきたとします。あなたは、「幸せ！」と思い、きっと喜び有頂天になるかも知れません。

・しかし、もし他の親戚が受け取った金額が10万ドル(約1,330万円)だと知ったら、どうでしょうか。有頂天でいられるでしょうか。

・皆さん、私たちが考える幸福感や望みなど、すべては人との比較に基づいています。人と比べて、幸せ、いやそうではない、などと思うものです。このような人の心理を知ること長(た)けた人は、自分が求めている以上のことを最初に主張します。たとえば、

「一週間かけて、ボーイスカウトのキャンプをやるのですが、付き添いをお願いできませんか?」、と尋ねます。

「それは、ちょっと困ります」という返答が来たら、「では、週末スキーはどうでしょう」

「まあ、それなら何とか……」という返事をもらいます。

・つまり、この人は初めに大きな要求(1週間)を示し、次に控えめな欲求(週末)を提示するテクニックを心得ているのです。譲歩しているように見せることで、こちらの方がましだと相手に思わせるわけです。このような話しのアプローチですと、相手は「それなら……」ということになります。これはビジネス、商売をする人が使うテクニックでもありましょう。

・それでは、今の混沌とする時代に、私たちはどう生きるべきでしょうか。

聖書は次のように教えています。マタイ福音書 10 章

10:16 「いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。」

- ・今日は、この 1 節から次の 3 点学びたいと思います。

### 大切なポイント

#### 1. 蛇のように賢く生きなさい

- ・今日のみことばは、イエス・キリストが愛弟子たちに教えられた一節です。  
10:16 「いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、
- ・注目したいことは、イエスは「いいですか」と声をかけられたことです。つまり相手の注意心を自分に向けさせる語りかけです。そして羊（この文脈では弟子たち）を狼の中に送り出すようなもの、と言われました。
- ・それほど厳しい世の中へ、愛弟子を遣わされるにあたり、大切なことを教授されたのでした。今の時代も然りですね。社会は本当に厳しいものです。狼は凶暴な動物で、だれもが知っています。イエスはその中に愛弟子を遣わすと言われました。なんのためでしょうか？  
⇒ Good News (福音) を伝えるためです。
- ・すなわち、この 1 節は、今の時代でも注意を払って生きる方法、すなわち「心がまえ」を教えています。

#### 1) 注意を払い生きる

- ・注意を払い生きることは、いつも大切なことです。  
{例 話}
- ・昔、東南アジアで次のような話がありました。  
ある国で賢い王様が、王子たちに大切なことを教えるため、4 人の王子に次のように命じました
  - ① 第一王子を冬に、マンゴー畑に向かわせました。
  - ② 第二王子を春に、マンゴー畑に向かわせました。
  - ③ 第三王子を夏に、マンゴー畑に向かわせました。
  - ④ 第四王子を秋に、マンゴー畑に向かわせました。
- ・約 1 年の月日が経過し、王様は 4 人の王子を呼びだし、自分たちが見たものを報告させました。各王子は次のように報告しました。
  - ① 第一王子：マンゴーの樹は枯れていた
  - ② 第二王子：マンゴーの樹には緑の葉が茂っていた

- ③ 第三王子：マンゴーの樹の花は満開であった
- ④ 第四王子：マンゴーの実がなっていた
- ・王様は、その報告を聞いて言いました。「お前たちの見たものは全て時正解である。季節が異なっているがゆえに、異なるものが見えたのだ」そして、「分かるかい。物の見方は各人各様で、同じ物についてもさまざまな説明をする可能性が高いことを示しているのだ。」と言いました。
- ・すなわち、人間というものは、意識を高めるならば、単に見聞きするだけではないということです。よく視て、よく聴くことが可能となるのです。  
⇒それが本当の意味で、「注意を払う」ということです。

## 2) 注意を払うために大切な心構え

### ① 「気配」に注意する

- ・自分の言葉を相手がどのように受け止めているかを知るカギの一つは、体の動きにあると言われます。座った時に、こちらを正面から見ずに、斜めを向いているならば、打ち解けていない現れです。
- ・あるいは、胸の前で腕を組んでいるならば（日本では）、考えて警戒している現れです。このように、態度や声に、人の「気配」は現れるものです。

### ② 隠れたメッセージを読む

- ・議論で優位に立つには、相手の本音と建て前を見抜く力が必要と言われています。相手の言うことを額面通りに信じて、大変な経験をすることもあります。
- ・その点で、日本語はやっかいな言葉であると思います。  
「善処します」、「考えておきます」という返事は、意に添えない可能性があります。また「大したことでは、ないのですが」という表現には、それが「大したこと」であるということです。「つまらないものですが」という表現は、「つまらないもの」ではないということです。日本語表現で難しいことは、相手の言葉の裏に隠れた「メッセージ」を読むことです。

### ③ 「何を重要視しているか」に注目

自分にとってはさほど重要ではないことが、他人には重要である場合があります。相手にとって、何が決定的に重要なのかを探るために、目と耳を最大限に使うことです。そうすれば、対話は友好的なものとなるでしょう。

### ④ 「影響下行動の原則」

(The Principle of Behavior under the influence)

- ・大切なことは、「影響下行動」という概念を頭に入れておくことです。現代心理学、教育学ではすでにいろいろな研究がなされています。これは、「人は育つ時代や環境に大きく影響され。支配されるという概念です。」人を判断する場合、必ず頭に入れておかなければなりません。
- ・「影響下行動の原則」が頭にあれば、独善的な見方に陥ったり、色眼鏡で見ることは避けられるものです。

- \*「蛇のように賢く生きる」には、実はこのように注意を払い生きることです。聖書で、蛇はイブに巧妙な誘いかけの言葉をかけ、それをそのまま受けたアダムも、同じように禁断の実を食べてしまいました。
- \*それは神の「ことばを破る行為」でした。蛇は悪知恵を働かせましたが、その悪さではなく、蛇の賢さを教えています。世の中はそのような悪賢さを持つ人がいるということです。
- ・イエスは、もう1点教えられました。

## 2. 鳩のように素直に生きなさい

- ・鳩にはいろいろな習性があります。
- ・長距離を飛ぶ習性があります。一般的に約50kmですが、世界で最長距離は日本からカナダまで、なんと7000kmでした。その習性を説明するに、太陽コンパス説、磁力説、視力説などが上げられていますが、まだ解明されていません。
- ・巣は三つの面に囲まれた所に作ります。マンション建物の隅や、神社の建物の角、コーナーに「巣」を作る  
巣を作る3条件：外的のいない所、エサのある所、水のある所
- ・鳩は数羽から数10羽、数百羽と群れを作って生活する  
すなわち一羽で生きるのではなく、群れで生きる鳥である。
- ・鳩の習性には、子どものような依存性がある

このような鳩の習性からお分かりのように、「鳩のような素直」とは、鳩の性格が素直というよりも、互いに依存する素直さではないかと思えます。

- ・イエスはある時、次のように言われました。
- 10:15 まことに、あなたがたに言います。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできません。」 マルコ
- ・小さい子どもは親に頼ら（依存）なければ、生きられない存在です。

そのような存在は、素直さを示しています。

### 3. 生きるための秘訣

- ・イエスは言われました。
  - 10:16 いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。
- ・イエスも公生涯でいくつもの試練に遭われました。その一か所を引用しましょう。 ヨハネ福音書 8 章
  - 8:2 そして朝早く、イエスは再び宮に入られた。人々はみな、みもとに寄って来た。イエスは腰を下ろして、彼らに教え始められた。
  - 8:3 すると、律法学者とパリサイ人が、姦淫の場で捕らえられた女を連れて来て、真ん中に立たせ、
  - 8:4 イエスに言った。「先生、この女は姦淫の現場で捕らえられました。
  - 8:5 モーセは律法の中で、こういう女を石打ちにするよう私たちに命じています。あなたは何と言われますか。」
  - 8:6 彼らはイエスを告発する理由を得ようと、イエスを試みてこう言ったのであった。だが、イエスは身をかがめて、指で地面に何か書いておられた。
  - 8:7 しかし、彼らが問い続けるので、イエスは身を起こして言われた。「あなたがたの中で罪のない者が、まずこの人に石を投げなさい。」
  - 8:8 そしてイエスは、再び身をかがめて、地面に何かを書き続けられた。
  - 8:9 彼らはそれを聞くと、年長者たちから始まり、一人、また一人と去って行き、真ん中にいた女とともに、イエスだけが残された。
  - 8:10 イエスは身を起こして、彼女に言われた。「女の人よ、彼らはどこにいますか。だれもあなたにさばきを下さなかったのですか。」
  - 8:11 彼女は言った。「はい、主よ。だれも。」イエスは言われた。「わたしもあなたにさばきを下さない。行きなさい。これからは、決して罪を犯してはなりません。』
- ・このストーリーには、実に巧妙な罠がありました。
  - 当時の社会リーダーたちは、イエスを訴えようとし、罠にかけ告発しようとして近づきました。罠とはどういうことかといえば、どちらの答えをしても不利となる「しかけ」があったことです。
  - ① もし、この女性を罰しないとすれば、イエスは、ユダヤ人が信じているモーセの教えに反することとなる。
  - ② 逆に罰すると言えば、裁判官ではないのに、なぜそのような言葉が言え

るかということになる。

- ・つまり、イエスは八方ふさがりの場に置かれました。しかしイエスの行動に注目してください。

8:6 彼らはイエスを告発する理由を得ようと、イエスを試みてこう言ったのであった。だが、イエスは身をかがめて、指で地面に何か書いておられた。

- ・人々の多くの目は、きっとイエスの指先に注目が集中しました。イエスは地面にいったい何を書かれたのでしょうか（聖書に書かれてないが）。

⇒イエスはきっと旧約聖書のみことばを書かれたに違いない、と思います。

- ・すると何が起こったのでしょうか。

8:7 しかし、彼らが問い続けるので、イエスは身を起こして言われた。「あなたがたの中で罪のない者が、まずこの人に石を投げなさい。」

8:8 そしてイエスは、再び身をかがめて、地面に何かを書き続けられた。

8:9 彼らはそれを聞くと、年長者たちから始まり、一人、また一人と去って行き、真ん中にいた女とともに、イエスだけが残された。

- ・イエスはこのように蛇のような賢さを持って、ユダヤ人指導者に対処されました。

- ・皆さん、どうして年長者から始まり、一人ずつ去って行ったのでしょうか。それは地面に書かれた文字に秘密がありました。すなわち、地面に書かれた神のみことばが、人々の心に語りかけたのです。

- ・聖書のみことばの権威です。みことばの権威に触れるならば、討論も議論も不要です。みことばが語りかけるからです。聖書のことばは、人の心に語りかけ、人を励まし、勇気を与え、そして助けてくださいます。

- ・いかがでしょうか。私たちも、蛇のような賢さと鳩のような素直さを持って歩もうではありませんか。

では、どうすれば良いのでしょうか。⇒イエス・キリストから受けることです。

- ・イエスは言われました。ヨハネ福音書

8:12 イエスは再び人々に語られた。「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます。」

## ま と め

説 教：「賢く生きる心構えが大切」

—イエスの知恵—

- ・今朝、神は私たちにお語りくださいました。今の時代も、約 2 千年前の時代も、人の心はあまり変わってはいません。イエスは愛弟子たちを伝道に遣わされたとき、次のように言われました。マタイ福音書

10:16 「いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。」

・皆さん！ 私たちは心配する必要はありません。イエス・キリストは次のように約束してくださったからです。 **マタイ福音書**

11:29 わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。

11:30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

\*God loves you!